



# 誰も取り残さない、 高校でのESDを考える

4 質の高い教育を  
みんなに



## No one will be left behind.

これまで ESD や環境教育は、小・中学校で実施される場合が多く、高校生を対象とした取組は少ないとされてきました。

関東地方 ESD 活動支援センターでは、平成 30 年 6 月に「みんなで考える、高校向け SDGs プログラム」と題したセミナーを開催し、現役高校教諭や NPO、高校生など、多くの方にご参加いただきました。今回の勉強会では、高等学校において「様々な学力層の生徒を対象とした ESD を企画、実践している（SDGs も含める）高校教育関係者教員向けの勉強会」として、企画しました。

**日時：平成 30 年 9 月 1 日（土）14:00～16:30（受付 13:30～）**

**場所：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（国連大学内）**

（東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F）

- 主催：関東地方 ESD 活動支援センター（関東 ESD センター）
- 企画協力：多摩大学 高大接続アクティブラーニング研究会幹事 松井 晋作氏
- 対象：教育関係者（教員、NPO、自治体、企業等）
- 参加費等：無料（要お申込・先着順、教員の方を優先させていただきます）

14:00	開会：趣旨説明
14:05	<b>○第 1 部：3 名の現役高等学校の教員による ESD 実践報告</b> 1：岩倉高等学校 松本 祐也氏 高等学校における SDGs の取り組みと課題 2：都立福生高等学校 西谷 真一氏 定時制高校におけるアクティブラーニングの意義とは 3：都立駒場高等学校 木村 裕美氏 リーダーシップ教育と SDGs
15:00	<b>○第 2 部 ESD 実践について考えるワークショップ（1）</b> 第 1 部の感想の共有。 →掘り下げてみたいテーマの洗い出し
15:20	<b>○ESD 実践について考えるワークショップ（2）</b> （1）で出てきたテーマ毎に席替え。 ゴール：テーマごとに、実践のためのアイデアを出す。 全体知として課題解決を含めた方法論や組織マネジメントを全員で共有し考える。最終的には中等教育の方向性を打ち出したい。
16:30	終了

※終了後、近隣で交流会を開催予定

